

生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体の生物多様性に係るホットピックを定期的に取りまとめ、自治体間で事例の共有を図るとともに、対外的な発信をおこなうものです。

★11月配信の記事募集中（※切 10月26日(月)）会員等に共有いただける記事を募集中です！

生物多様性自治体ネットワークについて <https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/j-gbf/nlgb/>

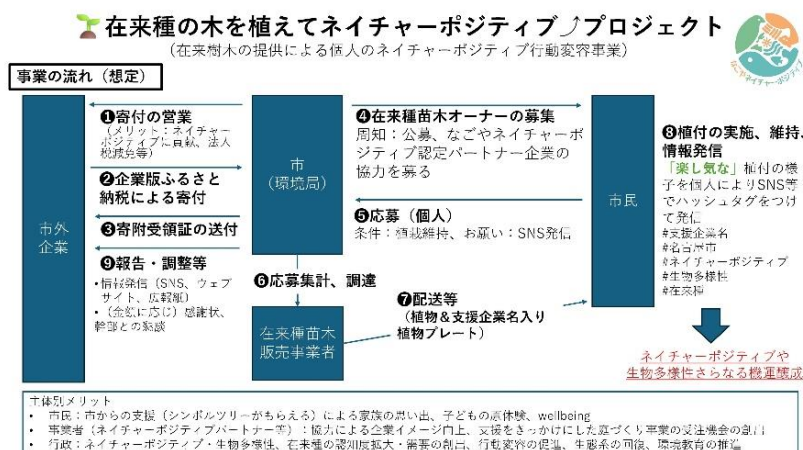
●企業版ふるさと納税によるネイチャーポジティブ推進事業について【名古屋市】

名古屋市では、企業版ふるさと納税を活用し、ネイチャーポジティブの実現に向けた取組を進めています。このたび、株式会社エコ建築考房（愛知県一宮市）から、本市のネイチャーポジティブ推進事業にご寄附をいただきました。

寄附のきっかけは、市役所西庁舎前の生物多様性緑化花壇を通じたご縁です。同社から「自然にプラスとなる取組を応援したい」とのご提案をいただき、企業版ふるさと納税による支援につながりました。

いただいたご寄附は、本市が重要な課題の一つと考えている「一人ひとりのネイチャーポジティブに関する行動変容」の促進に活用する予定です。具体的には、個人に在来樹木等を提供し、植えて育てる体験を通じて、生物多様性への理解とネイチャーポジティブな行動の広がりを目指します（事業のスキームは以下の画像参照）。

行政事業を通じて生まれた企業とのつながりを、ネイチャーポジティブ推進のための企業版ふるさと納税につなげることができた好事例です。名古屋市では、今後も企業の皆さまとの連携・共創を積極的に進めながら、ともにネイチャーポジティブの実現を目指すパートナーの輪を広げ、その取組を力強く推進していきます。



<参考>

ネイチャーポジティブ推進事業（企業版ふるさと納税等の寄附原資）

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/kankyou/1012463/1034789/npsuishin.html>

寄附企業への感謝状贈呈式の様子（本市 Instagram へリンク）

<https://www.instagram.com/p/Dds-A1koGje/?stkn=MTcxcG5iazltaGt5aA==>

<問い合わせ先>

名古屋市環境局環境企画課 担当：房村

TEL：052-972-2698 Mail：a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

●ラムサール条約に登録されている湿地で市民向けイベントを開催しました【名古屋市】

令和8年9月22日に名古屋市の南西に位置する藤前干潟にて「藤前干潟わくわくフェスタ 見て・知って・守ろう!」を開催しました。

名古屋市は昨年7月にラムサール条約湿地都市の認証を受けました。また、周辺の競技場ではアジア・アジアパラ競技大会が開催されており、藤前干潟の魅力を広く発信する機会となりました。



イベントチラシ

当日の様子

また、今年3月より開始した名古屋市役所屋上みつばちプロジェクトで採れたハチミツ「金シャチハニー」の試食・販売を行いました。ブース内では、生物多様性の保全上重要なミツバチによる花粉媒介など「生きもののつながり」についてクイズやパネル展示を通じて普及啓発も行いました。



金シャチハニー試食提供の様子



クイズの答えを探してパネルを真剣に見る様子

<ウェブサイト>

藤前干潟の保全・活用の紹介⇒

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/kankyou/1012463/1034808/1012465.html>

名古屋市役所屋上みつばちプロジェクト⇒

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/kankyou/1012463/bee.html>

<問い合わせ先>

名古屋市環境局環境企画課 担当：樫原（イベント） 房村（みつばちプロジェクト）

イベント…TEL：052-223-1067 Mail：a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

屋上養蜂…TEL：052-972-2698 Mail：a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

●クビアカツヤカミキリ駆除大作戦について【岐阜県】

岐阜県では、令和8年2月に幼虫が初めて発見され、7月には隣県との境に位置する各務原市、羽島市、海津市で成虫を確認しました。

侵入初期の段階で県全域での一斉調査と駆除を行うため、夏休み期間に成虫を駆除した県民に県産品を呈する、県民参加型の駆除大作戦を実施しました。

その結果、新たに池田町で成虫が発見され、フラスが輪之内町と岐阜市で見つかり、分布が拡大している可能性があることが分かりました。

今後もフラスの調査を継続し、研修会や専門家の派遣を実施しますが、本県だけで被害を食い止めるのは難しいことから、7月31日に国がクビアカツヤカミキリ対策本部を設置したように、東海地方でも近隣県と連携した対策を講じられないか、関係機関へ働きかけを行っているところです。

なお、本作戦は8月6日の記者会見で発表し、進捗状況等についても8月31日の記者会見で報告を行いました。NHK、東海テレビ、中京テレビ、中日新聞、毎日新聞、読売新聞などで取組が紹介され、報道の協力を得て広く特定外来生物の駆除を普及啓発することができました。



<ウェブサイト>

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/511018.html> (駆除大作戦のHP)

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/515257.html> (今後の対策等のプレスリリース)

<問い合わせ先>

岐阜県 自然環境課 担当：大島、酒向

TEL：058-272-8231 Mail：c11269@pref.gifu.lg.jp

●亀山市ネイチャーポジティブ経営推進セミナーの開催について【三重県亀山市】

亀山市では、地域事業者がネイチャーポジティブへの理解を深め、地域全体で取組を進める第一歩とするため、令和8年8月26日に「令和8年度亀山市ネイチャーポジティブ経営推進セミナー」を開催しました。本セミナーは、亀山市と株式会社百五銀行が令和8年4月に締結した「亀山市におけるネイチャーポジティブの実現に向けたまちづくり推進に係る連携協定」に基づく取組の一つとして、本年度に初めて開催したもので、市内外の製造業、運送業等、26事業所から36人が参加しました。

一般社団法人国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）会長の道家哲平氏を講師に迎え、「ネイチャーポジティブと企業経営」をテーマとした基調講演を実施しました。「GLOBAL NATURE POSITIVE SUMMIT 2026」を踏まえて、ネイチャーポジティブをめぐる国内外の最新の動向を紹介していただくとともに、企業経営への影響、企業に求められる取組などについて、県内の事例も交えながら紹介いただきました。また、基調講演後にはミニワークショップと質疑応答を行い、自社の事業活動と生物多様性との関わりや、今後必要な支援策について考えていただく機会を設けました。

道家氏からは、企業が取組を進める上で「ネイチャーポジティブ発想10原則に基づくこと」、「4つの共通指標に基づいて評価すること」などの要点が示されるとともに、「『その場所を守ることが拠点のある地域全体の生態系保全にどう寄与するか』という文脈を、行政と連携して示すことで、社内外の強力な説得材料になる」との解説がありました。

亀山市では今後も、企業・金融機関・市民団体等との連携を深めながら、生物多様性の保全と地域経済の発展が両立するネイチャーポジティブなまちづくりを推進していきます。



<問い合わせ先>

亀山市環境課生物多様性・獣害対策グループ 担当：上野

TEL：0595-96-8588 Mail：seiyyuu@city.kameyama.mie.jp

●多摩市ネイチャーポジティブプロジェクト～みんなで育てる生物多様性について【多摩市】

多摩市では、生物多様性の理解を深めるとともに、ネイチャーポジティブの関心を高めることを目的に「多摩市ネイチャーポジティブプロジェクト」を実施しています。プロジェクトでは、五箇公一氏の講演や市内で環境保全活動を実践している市民団体の代表によるパネルディスカッションを行う「たまネイチャーポジティブフォーラム」を11月に開催するほか、年間通して、市民の皆さんが自然保護活動「見て・触れて・体験しながら」学び、ネイチャーポジティブの「最初の一歩」を踏み出す「たまネイチャーポジティブスタディーイベント」を実施しています。

○たまネイチャーポジティブフォーラム

○日程 11月7日(土)

○会場 パルテノン多摩 第1会議室

○内容 【第1部】13時～14時20分

基調講演「生物多様性の保全とネイチャーポジティブ」

講師：五箇公一氏（国立環境研究所 特命研究員）

【第2部】14時30分～16時30分

「多摩市生きもの調査隊から」

講師：渡辺仁氏（NPO 東京生物多様性センター 代表理事）

「パネルディスカッション」

※参加者には、図鑑としても使える「多摩市生きもの調査レポート」の冊子を贈呈

○たまネイチャーポジティブスタディーイベント

※詳細はホームページ参照

	
五箇公一氏	スタディーイベントのイメージ

<ウェブサイト>

<https://www.city.tama.lg.jp/kurashi/kankyo/hozen/event/1020556/index.html>

<問い合わせ先>

多摩市環境政策課 担当：斉藤、豊泉

TEL：042-338-6831 Mail：tm291000@city.tama.lg.jp

●事務局からのお知らせ

<その他依頼事項>

令和 7 年 2 月 12 日に開催された本ネットワークの総会において、令和 8 年度総会（R9.2 頃）を名古屋市中で実地開催することが決定しています。各自治体におかれましては、本市にお越しいただくための旅費等の確保をお願いいたします。詳細は総会資料をご確認ください。

<J-GBF ネイチャーポジティブ行動計画における本ネットワークの指標の進捗状況>

指標	基準日※の数値 ※行動計画承認日（R5.9.12）	現在の数値 （R8.10.7 時点）	基準日からの増減
生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体数	193 自治体	203 自治体	+ 10 自治体
加盟自治体における 30by30 アライアンス加入数	33 自治体	65 自治体	+ 32 自治体